

放課後等デイサービス評価表（事業所向け）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			指導訓練室を1階、2階に配置し、活動プログラムやお子様の状態等に応じて使い分けができるようにしています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			熊本市の定める指定基準を遵守しております。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		車椅子等、身体面で配慮が必要な方にはご不便をおかけする環境かもしれません。必要に応じてスロープや手すりの増設などを検討いたします。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎月事業所会議を実施し、定期的に業務の見直しを行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年に1回放課後等デイサービス評価に関するアンケートを実施しています。また、モニタリング時等に事業所へのご要望についてもヒヤリングをしております。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			明徳会ホームページや活用しているインターネットシステム（HUG）にて公開いたします。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価等はまだ実施しておりません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			本人の希望やキャリアに応じて外部研修に参加する機会を設けるとともに、内部研修等も実施しております。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	○			日々のアセスメントおよび本人、保護者様のご意向を必ずお伺いし、必要に応じて関係機関のご意見も踏まえ個別支援計画を作成しております。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」「認知・行動」「感覚・姿勢・運動」「健康・生活」の5領域に対して統一したアセスメントシートを使用しています。

⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			主に児童指導員が原案を作成し、児童発達支援管理責任者が個別支援計画やニーズに沿った活動が提供できるようにすり合わせをし実施しています。
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			スキル獲得のため、反復して実施するプログラム（生活スキルなど）もありますが、その都度支援内容を変えるように工夫しています。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			放課後には通常の活動プログラム、休日など終日ご利用時には余暇外出など地域で活動するプログラムを実施しています。長期休み時には、季節を感じられる活動を心がけています。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成しているか	○			個別、集団において得られる効果をねらった個別支援計画を作成するようにしています。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝の朝礼、または前日の終礼時において活動内容、送迎、職員の動き等について確認をします。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			連絡帳の入力については関わった職員全員で記載または確認するようにし、情報共有を図っています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			連絡帳に記載した内容をもとにケース記録をとっています。とくに気になる様子については必ず残すようにし、行動の分析に繋がれるように心がけています。
⑱	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6ヶ月に1回はモニタリングを行い、継続が必要な場合でも支援内容や目標を見直すようにしています。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			運動・感覚、SST、創作、生活スキルを基本に活動を行っています。また、学休日、長期休み時には余暇外出等地域へ出る活動も行っています。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者や必要に応じて児童指導員も同席するようにしております。

21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			新規契約時は、各学校へ送迎開始の旨を文書にてお知らせしております。担任の先生がどなたかは必ず把握し、下校時間の確認や問題があった際の対応について連絡・相談ができるようにしています。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	-			-
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		放課後等デイサービスへの移行時担当者会議時に情報共有を図ったり、情報書をいただいたりすることもあります。統一して取り組めていないため、今後引継ぎマニュアル等の作成いたします。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	-			今年度は事例がありませんでした。
25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			児童発達支援センターによる巡回訪問や障がい児福祉ネットワーク会議での研修に参加しています。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		地域の公園や公共施設へのお出かけや、どんどやなどの地域行事へ参加する機会を設けました。今後、意図した交流の機会について検討いたします。
27	自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	○			熊本市障がい者自立支援協議会こども部会の下部組織である「障がい児福祉ネットワーク会議」に参加しています。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			ご利用時の連絡帳を通して、発達面への気づきを共有しご意見等をいただくようにしております。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		ご家庭での生活に対して、事業所の機能を活かした関わり方についての構築が今後の課題ですが、困りごと等に対して個別療育・支援計画を通して発達を促し解決に繋がるよう心がけています。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		ご見学やご契約時において、丁寧な説明を心がけています。	
	③⑪	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援をおこなっているか	○		ご相談は随時受け付けております。対面や電話、メールなど保護者様のご相談がしやすい方法で実施いたします。	
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	令和5年度では実施できませんでした。次年度では、何らかのかたちで保護者様が集る機会が持てるようにいたします。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			法人共通苦情受付マニュアルを整備しております。今年度、苦情はお受けしておりませんが、お受けした際は誠意を持って対応いたします。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	HUG (ICT) やInstagramを通して活動の様子をお知らせしています。また、法人広報誌「めいとくジャーナル」でも、めいとくBUDDYの情報について発信いたしましたが、今後独自の会報誌づくりを検討いたします。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報保護規程に基づき取り扱っています。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			言葉での発信が困難な子どもに対しては、必要に応じてコミュニケーションボード・絵カード等を活用しています。また、営業時間外でもご連絡を受付けられるようHUG (ICT) を活用しています。
非常時等の対応	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域行事への参加や地域清掃等を通して交流の機会が得られるようにしていきます。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	マニュアルについては整備していますが、保護者様への周知が不十分でしたので、今後発信していきます。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、湧出その他必要な訓練を行っているか	○			消火・通報・避難訓練、地震想定避難訓練、不審者想定避難訓練を実施しています。

非常時等の対応	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		年3回、虐待防止、身体拘束防止に関する研修を実施しています。また、月毎の権利擁護スローガンについて目標立て、振り返りを行っています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	○		身体拘束について個別支援計画に記載しております。突発的な他害行為などやむを得ず行動制止等を行った場合は記録を残し、ご家族への説明も行っています。また、虐待防止委員会にてその行動制止が適切であったか検証しています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		アレルギーのある食品を把握し、おやつや調理時には提供しないようにしております。万が一摂取しアレルギー症状が出た場合の対応についても把握するようにしております。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事業所会議内で過去1カ月のヒヤリハット事例を振り返り、再発防止について協議しています。